

延期の岩手県議選挙日程も確定

＝組織内・推薦候補の当選に向け取り組みを＝

選挙日程

- <二戸市議選挙> 7月24日告示/31日投開票
- <雫石町議・滝沢村議選挙> 7月26日告示/31日投開票
- <盛岡市議選挙> 8月21日告示/28日投開票
- <岩手県議選挙> 9月2日告示/11日投開票



県議選挙・花巻(組織内)
木村幸弘
 (51歳)
 社民党公認・現①

☎ 0198-24-3445



県議選挙・北上(組織内)
久保孝喜
 (57歳)
 社民党公認・現①

☎ 0197-64-5050



県議選挙・盛岡(推薦)
刈屋秀俊
 (57歳)
 社民党公認・新

☎ 019-635-8818



市議選挙・二戸(推薦)
鈴木忠幸
 (58歳)
 社民党公認・現⑦

☎ 0195-23-4520



市議選挙・盛岡(推薦)
細川光正
 (62歳)
 社民党公認・現③

☎ 019-647-6680



村議選挙・滝沢(推薦)
鎌田忍
 (61歳)
 社民党推薦・現④

☎ 019-688-5353



町議選挙・雫石(推薦)
坂下栄一
 (58歳)
 社民党公認・現③

☎ 019-692-1996

3月11日の大震災を受け延期されていた岩手県内の各選挙が国労盛岡6月号に日程を掲載した二戸市・雫石町・滝沢村・盛岡市の議員選挙に続き、岩手県議会も9月2日(金)告示、同日11日投開票で実施することを6月29日岩手県選挙管理委員会が発表した。

岩手県議選挙には、組織内候補として花巻選挙区に木村幸弘氏、北上選挙区に久保孝喜氏がすでに承知のように2度目の議席確保に向け立候補を予定している。7月、8月、9月と連続の議員選挙の取り組みとなるが組織内、推薦候補の当選にむけ各地区で共闘の仲間とともに取り組みを強化していく。



「交流会議の行われた交通ビル3階」

第10回貨物運士交流会 東日本本部

出された問題点、交渉などで扱い

安全・安定輸送を追求していく

6月23・24日、未曾有の大震災後という中で、予定を変更し東京・交通ビルを会場に国労運協協議会主催の第20

回貨物運士学習交流会が全国から運転士・役員を含め29人の参加で開催された。盛岡地本からは、青森貨物分会か

ら私と中村健悦さんが参加した。

最初に、幹事の中野さん(水戸派出)から甚大な被害をもたらした震災を受け、支援に対しお礼を申し上げ開会された。

続いて、木立東日本本部運転協議会議長、武笠東日本本部執行委員、松井東京地方本部書記長、清水全国運転連絡会会長から、震災を受け今後の総合的な交通体系や安全・安定輸送を再考重要課題として取り組んでいかなければならないと、挨拶を受けた。

眞田全貨協議長からは、「春闘交渉時に地震が起き交渉が中断する事態になったが、

地震前までは年度計画の15億円は達成出来る予定であった。地震によって25億円ショートし4・5月で計画の95%で年間100億円のショートが予想される。夏季手当は、昨年と同額プラス0・05ヶ月となったが、災害復興の業務協力と昨年の定期算給カット分の一部であることを会社は表明した。事業計画では、利益剰余金から700億円の無利子貸付、EH800型(青函トンネル用)機関車に179億円(半分)の政府貸付を受け計画の再提出すること、今後3ヶ年で5000人を削減し4000人体制への計画内容であること、新しい乗り継方式は延期したが、DL運転士の現地出勤が提案されようとしているなどの提起を受けた。

参加者からは、「無呼吸吸症候群(SAS)の扱いが厳しくなった」「震災の臨時列車のダイヤ札が手書きで1ヶ月位続き見づらく大変だった」「震災時指令からの指示がな

く運転士の自己判断のなか、何処に避難すれば良いのか分からぬ」「中期計画の「運転士体型の見直し」提案内容を検証していかねばならない」「発足時、運転士2900人で20万4千キロから、現在は2000人で21万9千キロになっている」「アクテ

スのミスが多く信用出来な

い」「ATISの保安装置が会社間で異なり運転士はストレスがたまる」「0・05ヶ月は業績分とし昇給カット分は別途交渉して欲しい」「コンタクトの人は予備眼鏡をもつこと、眼鏡を作ったら免許違反で乗務出来ないと言われた」「常磐線の復旧見通しが立たないため職場が心配である」

運動が会社の姿勢を変えた 組織拡大に結び付けていく

▽東日本本部組織部長会議

国労東日本本部は6月18日、東京都新橋・交通ビルにおいて「各地方・地区本部組織部長会議」を開催。全体で22人、盛岡地方本部からは菊池組織部長が出席。

樋口執行委員の司会で始まり、佐藤副委員長が「一括和解以降の成果と課題を再点検し、職場にある『壁』の克服

「災害時に休業時間がない中で乗務している」などが報告があった。

まとめでは、時間のないなかでの討論で出された問題点をもち帰り、現場での学習や交渉に役立て改善を求め安全・安定輸送を追求していくことを確認し閉会した。

青森貨物分会 蝦名 忠夫

東北労働金庫からのお知らせ

東日本大震災により被災された方への「特別災害ローン」のご案内

東日本大震災により被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。

当庫では東日本大震災により被災された方々の生活再建と復旧を支援するため、「特別災害ローン」を取扱いたしますので、ご案内申し上げます。

- 特別災害ローン(無担保) 最高500万円
- 特別災害ローン(無担保) 最高500万円
- 特別災害ローン(無担保) 最高500万円

●特別災害ローン(不動産担保) 最高5000万円

震災に係る必要資金と、当庫でご利用中のマイカーローン・教育ローン・リフォームローンを一本化する資金としてご利用いただけます。

●特別災害ローン(不動産担保) 最高5000万円

被災住宅の修理・改修等の復旧工事、住宅の立替費用、代替住宅の購入費用等の住宅関連資金としてご利用いただけます。

東日本大震災 ろうきん復興支援キャンペーン 大きな支援の輪で東北に元気を

東北に甚大な被害をもたらした東日本大震災。その中で遭われた子どもたちは、こころと暮らした大きな傷を受けました。

その子供たちを支えようと、ろうきんはお預かりした貯金のお利息の50%と、同額をろうきんが拠出してあしなが育英会へ寄付する、「復興支援定期預金」をスタートさせました。

子ども達の未来のために、多くの皆さまのご理解とご協力をお待ちしています。

「ろうきん復興支援定期預金」

- お預け入れ金額 50,000円以上
- お預け入れ期間 1年
- 預金種類 ◎スパー定期◎スパー定期300◎大口定期
- 寄付金 定期預金利息税引後50%同額のろうきん拠出金
- 寄付先 あしなが育英会、東日本大震災津波遺児募金
- 寄付期間 2012年9月
- キャンペーン期間 2011年5月16日(月)～8月15日(月)



「問合わせ先東北労働金庫
 フリーダイヤル 0120-1199-162
 または、お近くの労働金庫へ